

## 1. 10月の目標

- 1) 授業への的確な対応
- 2) フォーミュラ SAE チームの活動への参加
- 3) ELC 及びその他の活動への参加

## 2. 10月の活動

## 2.1 授業への的確な対応

9月に Advanced 1 のクラスに配属されて1ヵ月半過ぎた今月半ば頃から、少しずつ授業に対応できるようになってきている。もちろん、クラスメイトのレベルにはまだまだ追いついてはいないが、授業内容の理解度は上がっているように感じる。先月の報告では、必須の5科目について紹介したため、今月は選択の2科目 Technical Writing 及び Pronunciation について報告する。

## ・ Technical Writing

Academic クラス(ELC 内ではなく RIT の正規の授業)を取るための学生向けの授業である。従って、授業のレベルは ELC の最も上の Advanced 3 に相当する。内容はリサーチペーパーを課題として、APA (American Psychological Association) と呼ばれる形式に則った論文の書き方を勉強している。リサーチペーパーのテーマは「自身の専攻分野に関連するもの」であることから、私はレーシングカーの環境性能についてまとめている。

授業はまず、APA のフォーマット形式についての解説から始まった。表紙に書くべき内容、位置、フォントの大きさや、参考文献の形式などは非常に細かく規定されている。授業は週に3時間あり、毎週リサーチペーパーに関する課題の提出が求められる。課題は、資料の選択、それら参考文献のアブストラクトとしてのまとめ、自身の論文の主な部分の草稿、論文の導入と結論部分のまとめ、自身の論文のアブストラクトの作成、と段階的に進め、1学期間に1つのリサーチペーパーを完成させる形式である。

これらの課題を実施する前に、授業でその方法についての解説や練習が行われる。9月中は、APA の形式についての解説が多かったため、内容については良く理解できた。しかし10月に入ると、実際の論文を授業中に読み、導入や結論部分、アブストラクトなどをグループ内で議論してまとめる、といった授業内容になった。このような内容になると、論文を読むスピードは遅く、その内容も良く把握できず、意見もないため議論もできない状況に陥ってしまう。こうした場面では、クラスメイトとの英語レベルの大きな格差を感じる。

リサーチする資料は、RIT の図書館の HP 内に存在するデータベースから簡単に検索することができる。資料は論文や雑誌の記事など、様々な分野、膨大な量の資料がまとめられている。KIT にもこのような HP があれば、より内容の深い調査や研究ができると考えられる。

### ・Pronunciation

その名の通り、英単語、英文の発音の仕方について勉強する授業である。内容は、単語の発音について音節の数とアクセント、文章中の句切り部分とアクセントをつける単語の選択などである。基本的に、授業中はリスニングと発音の練習を繰り返し行う。課題についても同様に、Web上のファイルを聞いて設問に答える、文章を読みそれを録音してWeb上に提出する、といったELC内でも特異な授業形態である。英単語のスペルによる発音の法則など、全く知らなかった内容も含まれており、楽しく勉強している。

## 2.2 フォーミュラSAEチームの活動への参加

今月半ば頃に、8月のドイツ大会を戦った車両がようやく戻ってきた。早速メンバーに、ドイツ大会のエンデュランスをリタイヤした原因を聞いたところ、ブローバイガスを回収するオイルキャッチタンクとエンジンを繋ぐホースのエンジン側が抜け(図1)、コース上に微量のオイルを落としてしまったとのことであった。車両のどこかが壊れたわけではなく、トラブルとも言えない非常に小さな問題である。アメリカ大会であれば、このようなトラブルでリタイヤになることはないそうだ。この辺りも文化の違いから起こるものなのかと感じた。



図1 エンジン側のホース



図2 カウル周りの流体実験

帰ってきた車両には、いつの間にか多くの糸が貼り付けられていた(図2)。カウル周りの空気の流れを見ているようで、車両の評価が進んでいる。今シーズン用の新車両の進捗状況は順調なようで、既に各部の部品製作に入っている。しかし、CAD上で車両全ての部品のアセンブリはまだ終わっていない。フレームなどの主要部品は、ある程度アセンブリが終わるとすぐに製作に入り、後に問題が生じてもフレームは絶対に変更しないそうだ。これは、KITのフォーミュラカープロジェクトとは大きく異なる点である。今までの情報と経験の蓄積があったり可能になることだと考えられるが、やはり世界トップクラスのチームから学ぶことは多い。

週末に行われている試走には時々参加し、倒れたパイロンの修正などの手伝いはしているが、チームの活動自体には参加できていない。チームリーダーに何か仕事をやらせてほしいとお願いしてはいるものの、特に私ができる仕事はないと言われてしまった。従って、メンバーに様々な質問をぶつけて情報を収集することしかできていない。引き続き何かチームに貢献できることを探したい。

## 2.3 ELC 及びその他の活動への参加

### 2.3.1 サッカー

秋学期から始まったリーグ戦に、引き続き参加している。ELC UNITED は 5 戦全勝、ORANGE WINGS は 6 戦で 1 敗しかしておらず、両チームともリーグをリードしている。私は ELC UNITED で 6 得点、ORANGE WINGS で 5 得点しており、健康面、精神面ともに非常に良い活動となっている。サッカーで使う英単語や表現も大方覚え、ゲーム中に味方にアドバイスができるようになった。両チームとも残りは 1 戦ずつであり、両チーム共に優勝できるよう尽力したい。

### 2.3.2 ハイキング

3 日(土)に ELC のイベントで、Letchworth State Park という州立公園へハイキングに出かけた。公園と言っても長さは 30km 以上あり、非常に大きい。公園で昼食をとった後、1 時間ほど掛けて深い溪谷沿いを歩いた。ロチェスター市内を流れる川の上流にあたり、滝が数箇所あるきれいな公園であった。自然の長い歴史と向き合い、気分をリフレッシュすることができた。図 3 に公園の様子を示す。

### 2.3.3 アイスホッケー観戦

10 日(土)にロチェスターのダウンタウンにあるブルークロスアリーナにて、RIT と Colgate 大学のアイスホッケーの試合を観戦した。RIT のホームゲームであったため、観客席は RIT カラーであるオレンジ色だった。相手の選手紹介の際に、RIT の応援団が “You suck!!” と揃って言ったり、ピリオドの間のブレイク中には観客のほとんどが年齢に関係なく会場内に流れる音楽に合わせて歌ったりするなど、アメリカの文化を大いに感じる事ができた。ゲームは惜しくも 2 - 3 で敗れたが、非常に楽しい時間を過ごすことができた。



図 3 Letchworth State Park



図 4 アイスホッケー観戦

### 2.3.4 ハロウィーン

31 日(土)は秋の最も大きなイベントである、ハロウィーンが開催された。ELC では 30 日(金)に Mendon Ponds Park という公園に行き、夕方から夜にかけて大きなカボチャを掘ったり、みんなで踊ったりした。私ともう 1 人の ELC の学生が、準備役に選ばれ、カボチャの購入や会場の準備などを手伝った。有名なアメリカ文化の 1 つを肌で感じる事ができ、ELC の学生と共に楽しい時間を過ごした。

## 3. 11月の目標と課題

## 1) 秋学期の授業のまとめ

来月半ばには、各科目で期末試験が実施される。秋学期の授業も残りは少なく、課題や内容の理解など、まとめを確実にやりたい。

## 2) フォーミュラ SAE チームの活動への参加

現在までに、RIT のチームに何か提供できることは見つけられていない。今後も積極的にワークショップへ出向き、活動に参加したい。

## 3) ELC 及びその他の活動への参加

引き続き、英語を使う機会を多く得るためや異文化を感じるために、様々な活動に参加したい。

## 4. その他

NY 州の法律で定められている MMR の注射を今月上旬に打ったが、次の日に針を刺した右の肩が少し腫れ、その後上半身の右側に蕁麻疹のようなものができた。大学内の診療所で診てもらったが、処置や薬はなくじっと耐えれば治ると言われた。医者に症状について解説されたが、専門的な単語が多く、なかなか理解することができなかった。始めは痒みが強かったが 10 日ほど経つと痛むようになった。症状が出始めてから 20 日間ほど経って、ようやく治った。現在の健康状況は、良好である。

朝 7 時を過ぎても辺りはまだ暗く、夜は 6 時頃に日が沈むようになり、夏に比べると日が出ている時間が非常に短くなった。気温は大分下がってきており、朝はしばしば氷が張るようになった。まだ雪は降っていないが、寒い日が続いているため、体調管理に留意したい。

以上